

令和4年度農学部基本計画(経営戦略)

目 標	計 画	令和4年度検討課題	責任者・責任委員会
教育の質の向上	生物資源環境学科及び生命環境農学科の充実 ー教育コースの充実・学生支援ー	引き続き、教育プログラム検討部会、学科教務委員会で専門教育カリキュラム改善のための検討を行う。 ・シラバス記載項目の点検、記載内容の改善を行う。	生命環境農学科長
		学習指導体制の点検(継続) ・R4年度も学務支援システム、manabaを活用した出席管理を行う。 ・チューター教員等による履修指導を継続して実施する。 ・単位修得不良者への指導として、学科長ーコース代表ーチューター教員の体制を維持する。 ・履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援の体制について、改善をはかる。	生命環境農学科長
		入学センターと協力して、募集方法別に入学前教育の効果の検証を行う。	生命環境農学科長
共同獣医学科の充実ー教員組織の整備とカリキュラム改革ー		効果的な教育方法の推進(継続) コロナ禍で、遠隔講義、教員移動型授業ならびに学生移動型授業の実施形態や授業内容の変更を余儀なくされたが、引き続き、教育手法の検討を行い、さらなる改善、改良をめざす。	共同獣医学教育開発推進センター長
		臨床教育の充実(継続) ・臨床分野のうち、令和5年度から開講予定の新カリキュラム授業科目に関し、そのシラバスおよび実施方法について、鳥取大学及び岐阜大学で検証し、必要に応じてこれまでの実施方法の改善を行う。 ・5年次開講の総合参加型臨床実習について、その実施方法の検証を継続する。	共同獣医学科長
		獣医師養成教育の水準向上(継続) ・従前の共同獣医学科カリキュラムから令和2年度入学生より適用している新カリキュラムへ円滑に移行するため、鳥取大学および岐阜大学の学年暦を見据え授業編成を行う。 ・獣医学共用試験を実施し、共同獣医学科第7期生における教育効果を検証する。 ・大学基準協会が提示した獣医学評価ハンドブックの獣医学教育評価自己点検・評価ワークシートにより、項目を選定した上で自己点検・評価の試行を継続する。	共同獣医学科長
保護者との連携		保護者説明会の開催(継続) ・オンライン方式では例年より参加者が少なかった。オンラインでの情報発信を行いつつ、対面での実施を検討する。	教務委員会委員長
大学間連携フィールド教育への参加		里山フィールド演習の実施(継続) 実施の可否について、新型コロナウイルス感染拡大状況及び他大学の状況を踏まえて検討する。	教務委員会委員長
受験生の増大		入試制度の点検(継続) ・入学後の学生の履修実績をふまえ、学校推薦型選抜を中心に効率的な入試実施方法に向けた改善を図る	入試委員会委員長
		入試広報の充実(継続) ・受験生応援サイトの維持管理を行い、昨年度に引き続き、ホームページによる情報発信を行う。 ・農学部100周年記念サイトの開設	広報委員会委員長
		県内受験生の拡大(継続) ・県内受験生の拡大を図るために県内高校への説明会などを通じて高校生への広報充実に務め、農学部の魅力をアピールする。	入試委員会委員長
		総合型選抜、高校推薦型選抜の見直し(継続) ・総合型選抜、学校推薦型選抜Ⅰ、Ⅱは継続的な見直しをおこない、改善を図る。	入試委員会委員長
就職支援		就職ガイダンスの充実(継続) ・学生にとって有益となるように、ガイダンスの内容と時期について検討する。 ・全学年を対象に、一般企業及び公務員の卒業生との懇談会を実施する。 ・ウィズコロナウイルスにおける就職活動の影響に対する学生への情報提供とフォローを行う。 ・キャリアセンターと情報の共有化を行うなど、連携を取りながら就職支援を強化する。 ・WEB面接室の活用を促進する。 ・障がいを持つ学生に対する就職支援のあり方について、学生支援センターと情報交換を検討する。	就職支援委員会委員長

目 標	計 画	令和4年度検討課題	責任者・責任委員会
教育の質の向上	就職支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就職協定廃止に伴う就職活動状況の変化について把握し、学生へ正確な情報提供を行う。 ・インターンシップ等の専門科目におけるキャリア教育について、学生の学外活動を把握する。 ・ふるさと鳥取県定住機構と連携し、企業見学バスツアーへの参加者が増えるための検討を行う。 	就職支援委員会委員長
	地域の再生・活性化に関する教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・生命環境農学科里地里山環境管理学コースにおいて、「里地里山演習Ⅰ・Ⅱ」等の科目で、積極的に地域に出かけて、その実情・課題等を学生が学習する授業を引き続き実施する。また、「地域連携による6次産業化人材育成プログラム」として、生命環境農学科共通専門科目である食マネジメント演習を中心による学外での視察を含む授業を実施する。(継続) ・「地域連携授業支援事業」の申請を行い、必要な予算の確保に努める。 	地域価値創造研究教育機構兼務教員
研究部の資金の導向上の推進	菌類きのこ遺伝資源研究センター及び鳥由来人獣共通感染症疫学研究センターの充実と活用	NBRP事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな遺伝資源の収集を進めると並行し、外部機関からの寄託を増やす取り組みを開始する。 ・遺伝資源分譲数増加に向け、市場調査を実施する。 ・きのこ種菌の安全寄託制度を整備する。 公開菌株数の拡充に努め、DBRPとの連携を充実する。	菌類きのこ遺伝資源研究センター長
		きのか抽出物ライブラリーを活用し、新たな有用生理活性物質の探索を継続する。 FSCと協力し、医学部との間で農医連携を進める。	
		<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産省及び環境省との連携により、引き続き今後の高病原性鳥インフルエンザの国内発生に対応する。 ・農研機構病性鑑定機能強化事業「鳥インフルエンザ発生時の疫学調査に係るウイルス検査体制の整備・実施」を継続する。 ・農林水産省戦略的プロジェクト「家畜の伝染病の国内侵入と野生動物由来リスクの管理技術の開発」を継続する(最終年度)。 ・北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所との特定共同研究事業(文部科学省予算)が終了となったため、センター運営費の予算確保に努める。 	鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター長
	学内・学部内プロジェクトの推進	教育・研究プロジェクトの推進(継続) <ul style="list-style-type: none"> ・新任教員のサポートについて引き続き行う。 	学部長
	教員による学部内研究セミナーの開催(継続) <ul style="list-style-type: none"> ・新任教員の研究セミナーを開催する。 	学部長	
外部資金の獲得	農林水産省・環境省等他省庁を含めた研究費の獲得(継続)	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き文部科学省以外の省庁等の大型予算獲得に関する情報提供を行うとともに、研究推進機構、他学部との連携によるプロジェクトの育成と推進を援助する。 	学部長
		鳥取県・地域試験研究機関・企業との連携推進(継続) <ul style="list-style-type: none"> ・学部長が中心となり鳥取県・地域試験研究機関・企業との連携会議等を開催する。 	学部長
	科研費申請の義務制度の継続及び採択件数の増加に向けての取組実施(継続) <ul style="list-style-type: none"> ・申請書のブラッシュアップ等資金獲得に向けた取組を実施する。 	学部長	
	競争的資金等の間接経費の取り扱い方針の評価(継続) <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費について、月別推移を把握し、教授会において公表する。 	学部長	
研究機器の整備と有効活用	研究機器の充実と研究の効率化の推進(継続) <ul style="list-style-type: none"> ・共通機器の導入・管理方法を検討する。 	学部長	
教員の研究活動活性化支援	教員の研究活動を活性化するための評価・支援方法の導入、特に、若手教員の研究力の強化(継続) <ul style="list-style-type: none"> ・若手教員の研究活動支援策を継続する。 	学部長	

目 標	計 画	令和4年度検討課題	責任者・責任委員会
社会 貢献 の 推 進	フィールドサイエンス センターの活用	附属学校部からの要請に基づく学習の場の提供(継続)	フィールドサイエンスセ ンター長
		児童とその保護者を対象とした「あぐりスクール」を開講する。(継続)	フィールドサイエンスセ ンター長
	動物医療センターの 充実と活用	地域の拠点病院としての強化(継続) ・センター教職員のスキルアップを進める。 ・鳥取県獣医学会において症例発表等に積極的に参加する。	動物医療センター長
		設備の整備(継続) ・CTとMRIの更新に向けて準備を進める。 ・センターの改修後12年を経過することから、機器の故障等に迅速に対応する。	動物医療センター長
		経営・運営面の強化(継続) ・料金改定の準備を進める。 ・動物看護師の業務の効率化を進める。 ・受付業務の効率化を進める。	動物医療センター長
		リスク管理体制の強化(継続) ・院内感染防止に関する研修会を開催する。 ・インフォームド・コンセントに関するセミナーの開催を検討する。	動物医療センター長
地域との連携	鳥取県・鳥取市及び大学との連携協定を結んだ自治体との連携の推進 (継続) 日南町: 令和3年度と同様に連携事業を進める。 南部町: 米の食味向上に関する調査研究を継続する。 琴浦町: 芝結束機の改良の実証試験を行う。 鳥取県: 大規模水田作経営の経営管理支援を継続する。 鳥取県、鳥取市: 洗いラッキョウの調製機の性能を評価する。 ・八頭町との連携推進: ブランド米育成を支援を継続する。 ・兵庫県養父市との連携を継続する。	学部長	
		公開講座の推進(継続) ・大学主催の公開講座を実施する。	学部長
	農林業技術における連携の推進(継続) ・連携に努める。 ・地域の林業研修機関と協力して実習プログラムを開発する。	フィールドサイエンスセ ンター長	
	鳥取県農林水産業産学官技術会議への参加(継続) ・活動を継続する。	フィールドサイエンスセ ンター長	
運 営 体 制 の 改 善	運営の効率化と透明 化	・教員の業績評価データの活用方法を検討する。	学部長
		湖山農場でGAP認証取得に向けた取り組みを推進する(新規) ・必要書類のリスト化、栽培マニュアル、圃場作付mapのデジタル化を図る ・整理整頓を徹底する ・労働安全改革のために農業機器のリスト化、ナンバリング	フィールドサイエンスセ ンター長
		予算・決算書の公開(継続) ・代議員会資料として、学内Webの教職員向けグループウェアに公開する。	事務長
		事務業務の合理化・効率化(継続) ・事務業務の合理化・効率化について検討・推進する。	事務長

目 標	計 画	令和4年度検討課題	責任者・責任委員会
運 営 体 制 の 改 善	運営の効率化と透明化	省エネの推進(継続) ・農学部経費削減推進委員会で管理経費の削減目標・計画の作成と具体的提案を教職員に行い、省エネを推進する。 ・光熱水料の削減目標を設定し、また、使用実績を教授会で報告するなど経費削減意識の高揚を図る。 ・光熱水料の受益者負担について引き続き検討する。 ・新型コロナウイルスの感染拡大状況を見ながら、エコアクションパトロールをできる範囲で実施する。 ・エアコン使用前のフィルター清掃を実施する。 ・研究用実験室の月別電気使用量を学内Webの教職員向けグループウェアに公開する。	事務長
		・農学系部門の人員配置と将来の人事方針の見える化について検討を継続する。	学部長
		研究不正防止・ハラスメント防止の観点から、教員相互のチェック体制を導入する。	学部長
育 安 研 全 で 空 効 間 果 的 確 な 保 教	建物改修計画の推進	火災時のマニュアルを作成する。	施設管理委員会委員長
		周辺施設(FSC・菌類きのこ遺伝資源研究センター・動物医療センター)の整備計画の推進(継続)	学部長
国 際 交 流 の 推 進	国際交流の推進	国際交流の推進(継続) ・オンラインでの新規国際シンポジウムを考案する。 ・海外学術交流協定校との交流を推進する。 ・JICA集団研修コースでの国際交流を図る。	学部長
	海外教育研究拠点の拡大	海外教育研究拠点の活用(継続)	学部長